

## 《日本ソフトバレーボール連盟 創立30周年記念事業》

### 令和3年度JSERA杯（第21回）ソフトバレー・東北ブロックフェスティバル 岩手大会開催要項

#### 1 目的

生涯を通して親しく楽しめるスポーツ環境をつくり、明るく豊かな地域社会づくり等の役割と老若男女を問わず手軽に楽しめるソフトバレーボールを提唱する。

ブロック単位で活動の機会を提供することにより、普及と発展に努めるとともにそれぞれのブロックにおける参加者の健康の増進と体力の向上、ならびにお互いの交流を深めることを目指し、ソフトバレーボールのより一層の普及と発展に寄与することを目的とする。

2 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本ソフトバレーボール連盟

3 主管 東北バレーボール協会 東北ソフトバレーボール連盟  
岩手県バレーボール協会 岩手県ソフトバレーボール連盟

4 後援 岩手県、盛岡市、(公財)岩手県体育協会、(公財)盛岡市スポーツ協会、盛岡市バレーボール協会、岩手日報社 エフエム岩手(予定)

5 協賛 JSERA北海道・東北ブロック協議会 名鉄観光サービス株式会社(予定)

6 オフィシャルボール (株)モルデン (株)ミカサ

#### 7 種目及び参加チーム

(1) レディースシルバーの部(50歳以上の女性4名)	1チーム
(2) レディースの部(18歳以上の女性4名)	1チーム
(3) メンズフリーの部(18歳以上の男性4名)	1チーム
(4) トリム・フリーの部(18歳以上の男女各2名)	1チーム
(5) トリム・スポレクの部(40歳以上の男女各1名、50歳以上の男女各1名)	1チーム
(6) トリム、シルバーの部(50歳以上の男女各1名、60歳以上の男女各1名)	1チーム
(7) トリム・ゴールドの部(60歳以上の男女各2名)	1チーム

※今年度に限り規模を縮小して実施することとし、種目の省略、チーム数の縮小を行っています

①参加チームは監督1名、選手8名以内で構成し、監督が選手を兼ねることができる。年齢で18歳以上とあるが、高校生の参加は認めない(働いている選手が対象)。年齢の構成は各部の( )内の員数の2倍以内とし、試合は常に( )内の選手構成で行なう。

②参加チームは、6名以上で申込み、当日も6名以上で参加すること。

止むを得ず大会当日6名に満たない場合は、エントリー変更用紙の欠場選手欄に理由を記入し、大会競技委員長に参加の了解を得ること。4名以上であればチームは成立し、種目別グループリーグ戦、順位決定戦の順位を得る。4名に満たない場合でも来場し、試合を行うこと。

(4名に満たない場合は、チームが不成立となるが、他チームから選手を借用する等により交流戦を行う。順位は交流戦の結果に関わらず最下位となる。)

③各県別参加チーム数は、上記記載のとおりとする。各県予選で参加チームが無く、不参加種目が生じたときは、できる限り開催県で補充する。

#### 8 参加資格

東北各県バレーボール協会またはソフトバレーボール連盟の推薦するチームとし、公益財団法人日本バレーボール協会に個人登録した者で構成する。なお、チーム構成メンバーのうち1名以上は、ソフトバレーボール名誉マスターリーダー、マスターリーダー、リーダー有資格者とする。

本大会は2県以上の予選会に参加できない。

- 9 開催期日 令和3年 9月26日 (日)
- 10 開催場所 盛岡市 「盛岡タカヤアリーナ (盛岡市総合アリーナ)」  
住所 〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮五丁目 4-1  
電話 019-658-1212
- 11 参加料 5,000円 参加申込み後に不参加となった場合でも返金しない。
- 12 競技規則 公益財団法人日本バレーボール協会制定の「2020年度ソフトバレーボール競技規則」及び本大会「開催要項」を準用する。審判は参加者の相互審判とし、リーダー資格者はワッペンを必ず着用する。
- 13 競技方法 試合は全て3セットマッチとし、種目別グループリーグ戦後、順位決定戦を行う。
- 14 大会日程 9月25日 (土) ・東北連盟理事会 「盛岡市総合アリーナ会議室」 13:00～  
※役員・選手交流会は行わない
- 9月26日 (日) 受 付 8:00～8:25  
代表者会議 8:30～8:50  
開会式 9:00～9:30  
試合開始 9:50～  
表彰式 (種目毎に競技終了後本部席前で行う。)
- 15 申込締切日 令和3年 8月15日 (日) 期日厳守のこと。
- 16 チームの参加申込方法  
参加チームは以下の文書及び参加費を各県バレーボール連盟理事長の指定する送付先、振込先に送付すること  
①紙の申込書原本、申込書の電子データ  
②JVA-MRS からダウンロードしたチーム加入選手一覧データ (年齢基準日を令和4年4月1日とすること)  
③参加料  
なお、エントリー変更については下記17 その他 (11) に記載する手順で受け付けます。
- 17 その他  
(1) ユニフォーム又はゼッケンは各チームで準備すること。  
(2) 監督マーク及びキャプテンマークは各チームで準備すること。  
(3) ゼッケン番号は1～8までの通し番号が望ましいが、チームに事情がある場合は異なっても可とする。  
申込用紙への記載順はレディース、ブロンズ、シルバーの部で若い年齢が男子1～2枠、女子3～4枠、年齢が高い男子5～6枠、女子7～8枠とする。(原則として年齢の若い選手が若い枠番号とすること。)  
特に年齢区分は男女を問わず厳守すること。  
(4) 大会は相互審判とし、主審、副審、線審、記録員、点示員の6名で行う。主審は名誉マスターリーダー、マスターリーダー、リーダー有資格者が担当し、リーダーワッペンを着用して行うこと。主審・副審は、飛沫防止のため電子ホイッスルを使用する。電子ホイッスルは主催者が準備し、使用の度に消毒する。チームで準備した電子ホイッスルを使用しても良い。  
(5) 帯同審判員については申込書に必要事項を記入し提出すること。なお、チームのベンチに入ることにはできない。  
(6) 主催者は9月26日のみの傷害保険加入を行うが、各チームでもスポーツ傷害保険に加入の上参加すること。  
なお、競技中の負傷については、応急処置は行うが以後の責任は負わない。  
(7) 代表者は、受付のうえ必ず代表者会議に出席すること。他チームによる代理受付は行いません。  
(8) 表彰は、公益財団法人日本バレーボール協会会長および日本ソフトバレーボール連盟会長連名の表彰及び東北ソフトバレーボール連盟会長名の表彰を全チームに行います。種目ごとに行う表彰式には全チーム必ず出席すること。  
(9) エントリー変更の最終受付は当日の代表者会議前であるが、変更が事前に判明している場合は、各県理事長を通じて9月21日までにメール等でエントリー変更を申し出ること。  
(記録用紙をパソコンで作成することから、事前入力へのご協力をお願いします。)
- 18 交流会及び宿泊等の斡旋  
交流会は行わない。  
宿泊等の斡旋については、詳細決定後お知らせします。